

着信書類

- ・ 多治見リバーサイド RC より
岐阜東濃分区 I . M 収支報告

他クラブ例会変更のお知らせ

- ・ 土岐中央 RC 11月27日(土)
「天福寺」午前11時茶会例会のため
- ・ 瑞浪 RC 11月23(火)～24日(水)
「ウェスティンホテル淡路」親睦家族旅行のため

来週(25日)のお知らせ

「お祝い例会」 点鐘 12:30

会長挨拶

本年は香港型インフルエンザが流行するかもしれないと言われております。お体には十分ご留意下さい。さて最近では尖閣諸島の問題が、ビデオの流出による公開が世間をさわがしています。争点はいろいろあるようですが今回はそんな問題は専門家にお任せして日本人の国民性を議論したいと思います。先月(10月)24日、高山市での地区大会にて、金美齡氏のお話を聞きました。氏曰く、農耕民族と狩猟民族との駆け引きの差が外交の差にでており、日本人の多くの問題解決方法は穏便な解決を望むあまりに常に落としどころを考えてしまう。毎日の農耕作業の中で争いを好んではいけない。激しい天候、自然に耐えてひたすら明日の豊作を願う日本人のDNAは殆どの日本人が有しているとのことです。狩猟民族は常に外交(けんか)の中で素直に自らの利益のために自己主張しその交渉の中で解決方法を考える。落としどころは前もって作らない。確かに、中国にしても、韓国にしても、農耕民族かもしれませんが、まして最近ではロシアまで日本に領土問題で更に強固に自己領土の確認の主張を行おうとしています。外交には強気の狩猟民族的な発想も重要であると氏は主張されました。そんな観点に立つともっと強く出られないのか、欲求不満ばかりのわく、菅内閣です。民主主義の成長過程の国と対等に戦うことは、おりこうぶって、やめたほうが、いいかもしれませんが何か面白くないのは事実です。例えば中国がロ-タリ-クラブをたくさん設立されるような国になればもっと分かり合える国になるかもしれませんが、余談。

I.G.M.報告 (Dグループ) 大岩順子

開催日: 11月11日(木) 場所: 松正
リーダー: 山口 寛 サブリーダー: 大岩順子
水野義弘 篠田博文 松浦毅 各務和宏
伊藤正雄 山崎正司 大澤大二 (出席者 9名)

サブリーダーなので早めにと思いましたが、皆様は私より早く来て頂き、18時前に始めることが出来ました。出席者皆様のご協力を感じ、西ロータリーの良き所であると思えました。リーダーの山口様の司会と挨拶で始まり、伊藤会長が挨拶の中で会員増強、退会者のお話をされました、山崎様からは「不況に強い業種の会員を見つけると良い」とのお話でした。「これからのロータリーについて」というテーマで全員に一言ずつお願いしました。

- ・ 会員が激変して、会長・幹事を2～3回しなければならぬ。
- ・ 若い人が多く入会するように会員一同になって会員増強に取り組む。
- ・ 親睦旅行が大変よかった。この様なことで会員増強して行くのもよいではないか。
- ・ 例会出席率がひと月4回で80%なので退会者を未然に防ぎ、よく話し合ってみる。
- ・ 若い人は、他のクラブの2世に勧めて、その友達にも勧める。ただ、若い人は出席率が悪い場合もある。
- ・ 自身の会社もロータリーとの付き合いでメリットを作っていくと良い。

意見は尽きず多くの素晴らしい意見を有難うございました。楽しいロータリークラブで進んでいくと良いと思えました。出席者の皆様大変お疲れ様でした。



親子がふれあう PTA 活動 多治見中学校

家族で命や絆の大切さを考えてもらおうと「PTA 親子の絆講演会」が開かれ、八百人が参加しました。